

# 2017年 活動報告

## 新たな時代を見据え、安全運転普及活動を進化

2030年ビジョン（1・2面参照）に掲げた「交通事故ゼロ社会の実現」に向けて、安全運転普及活動が果たす役割は大きくなっている。Honda 安全運転普及本部は、2017年も「人から人への手渡しの安全」と「参加体験型の実践教育」を基本として、新たな時代を見据えながら、交通社会の変化やニーズに合わせ、活動を進化させてきた。

### お客様に対する先進の安全運転支援システムの普及拡大のための正しい理解

衝突軽減ブレーキや誤発進抑制機能といった安全運転支援システム（Honda SENSING）を普及させるためには、搭載率向上に加え、お客様に手渡しで、その効果や限界について正しく理解していただくことが重要である。そこで、四輪販売会社においてお客様と接するスタッフがシステムの理解を深め、同時に販売店などでの試乗体験を安全に運営するためのプログラムを開発。来年の本格的な実施に向けて、研修会を試行した。



11月に交通教育センターレインボー埼玉で、埼玉県内のHonda Cars（四輪販売会社）のスタッフ23名を対象に開催された研修会。座学では先進安全機能の仕組みと作動原理を解説



Honda Carsのスタッフが、前走車・歩行者・対向車との衝突回避または被害軽減のための支援を段階的に行う衝突軽減ブレーキなど先進の安全運転支援システムを試乗体験

### 自身の運転の課題に気づいてもらい、行動の改善につながるシステムを開発

鈴鹿サーキット交通教育センターでは企業の安全運転研修などにおいて、自己評価と客観評価との差異を受講者に認識してもらうことにより、運転意識と行動の変容を促す研修を提供してきた。今年は、この研修のベースとなっているシステムを刷新。個々人の運転習慣の可視化がより明確となり、評価への納得性が飛躍的に向上した。受講者一人ひとりの実走行データ（運転操作の状況やクルマの挙動）と、一般的に安全とされる行動や操作を比較することで、受講者の新たな気づきにつなげる。



DSPシステムを搭載した車両を運転、指定されたコース（1周約800m）を走行。一時停止場所や急カーブ、上り下り、右左折、横断歩道の通過など9カ所のチェックポイントを通過



参加者間で安全運転行動について走行の動画表示を見ながらディスカッションすることで気づきを促す

### 小学校低学年向けプログラムの開発

日本での歩行中の交通事故死傷者数を年齢別にみると、7歳児が突出している。そこで昨年開発した幼児向け交通安全教育プログラム「できるニャンと交通安全を学ぶ」の続編となる「小学校低学年歩行編」を完成させた。開発にあたっては幼児向け同様、交通安全指導者の意見を反映させ、効果的な普及につながるものをめざした。

その内容はアニメーションを活用した対話型のプログラムで、指導者からの一方的な指導ではなく、児童に「どうして危ないのか」を考えさせ、気づきを促し、双方で答えを導き出す点が特徴である。映像編では、他者視点をわかりやすく伝えるために「上空からの見え方」や「運転者からの見え方」などをアニメーションとして取り入れている。また、体験編として、児童に道路横断時の安全確認を学んでもらう内容も組み込まれている。

このほか、今年11月には、Honda ライディングシミュレーター（4面参照）をモデルチェンジし発売。これは、より高度な危険予知能力を養うことができる「危険予測表示機能」など、危険予測の学習ができるソフトを充実させ、軽量・コンパクト化を実現したものだ。また、「SAFETY MAP」（7面参照）に表示されている急ブレーキ情報などを、道路改善等の事故防止策に役立てていただくため、昨年の大阪府警察本部、長野県警察本部に続き、本年は千葉県警察本部、警視庁と交通事故防止対策の推進に関する協定を締結した。高次脳機能障がいを持った方の運転再開に向けた取り組みでは、回復後にクルマの運転を再開したいというニーズに対応するために、今年9月に、（一社）沖縄県指定自動車学校協会と（一社）沖縄県作業療法士会と共催で「沖縄県障がい者運転復帰に向けた教習所指導員講習会」を開催、連携活動をサポートした。

海外においては、今年3月にHondaとしてベトナムに新たな交通教育センターを開設。安全運転普及本部は、レイアウトや運営に関するアドバイス、さらには、日本の交通教育センターのインストラクターを派遣して、現地のインストラクターのレベルアップに協力した。

※活動内容の詳細は、「Hondaの安全運転普及活動報告書2017」に掲載しております



ポイントとなる場面で映像を止めて、道路状況に潜む危険や安全な歩き方を児童に問いかける



ボールをクルマに見立て、道路横断時に大切な「止まる」「観る」「待つ」を体験する



沖縄県障がい者運転復帰に向けた教習所指導員講習会



Honda Vietnam Co., Ltd. が今年3月に開設した交通教育センター

### 2018年に向けて

Hondaは「交通事故ゼロ社会の実現」をめざし、これまで以上に行政、関係団体、地域社会など多くの皆様と連携を深めながら交通安全に取り組んで参ります。